

教育福祉常任委員会

委員長 清水 豊司

副委員長 清水 亜樹

委員 瀬戸 和雄 曾根田 徹

伊藤 奈穂子 熊田 和人

神保 京子

教育福祉常任委員会の調査・研究テーマ

1 「学校現場における現状と課題」

*** 児童・生徒の生活習慣や学力等の実態調査とより良いあり方の調査研究**

2 「障がい者の就労支援について」

*** 障がい者の雇用・就労支援についての本町の現状調査とより良いあり方の調査研究**

一昨年9月の役員改選と12月の補欠選挙を経て、現在の委員会メンバーが構成されています。月に1回以上の委員会を開催し、委員会の調査、研究テーマについての活動を行っています。尚、委員会開催時にはメンバー以外にも議長も参加しております。

新メンバーになった一昨年9月に2つの調査・研究テーマを挙げました。

一つが学校現場における現状と課題についてです。

町内の児童・生徒の生活習慣や学力の実態を調査・把握し取り組むべき課題を抽出し、より良いあり方を調査研究してきました。

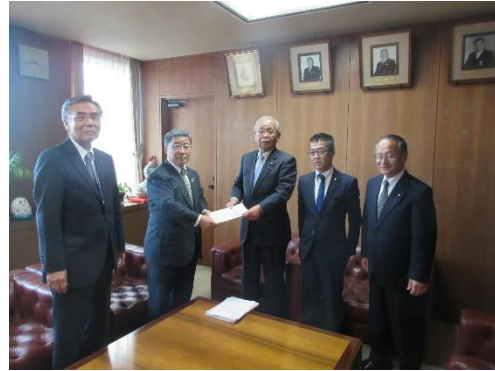
一つが障がい者の就労支援についてです

これは障がいがあっても安心して暮らせる環境整備をするという観点から住居の確保と就労の問題は大きな課題であります。そこで本町の障がい者の雇用・就労支援の現状を調査し、より良いあり方を調査・研究を続けております。

「学校現場における現状と課題」について

提 言

家庭教育を支援する政策の基本となる事項を定め、行政、学校、地域などの役割りを明確にし、各種事業を総合的に推進するための方策を講じること。



家庭や地域における教育力の低下が指摘される中、教育福祉常任委員会は、1年2ヶ月と言う短い期間であったが、教育総務課、町PTA連絡協議会との意見交換会、総合教育会議の傍聴、先進的な取り組みをしている北海道帯広市と日高町の視察等を行う中で、各家庭が改めて家庭教育に対する責任を自覚し自主的に取り組むとともに、家庭を取り巻く地域、学校、行政で家庭教育を支えていく必要があると考え、政策提言書を令和元年12月3日に町長に提出しました。

「障がい者の就労支援」について

NPO 法人 KOMNY でのマスク作り



NPO 法人プロジェクトめむろでのジャガイモ剥き

2つ目のテーマであります「障がい者の就労支援」は12月より活動を開始しておりますが、その前に昨年北海道芽室町の「NPO法人プロジェクトめむろ」と「(株)九神ファームめむろ」を視察しております。ここではスーパーで売られているポテトサラダのジャガイモ皮剥き作業現場を視察しました。作業者の集中力にはビックリいたしました。そして「学校現場における現状と課題」が一区切りついた12月より再活動を開始しました。

まずは12月10日に平塚市にあります「進和学園」の視察。ここでは自動車部品を組み立て、トマトジュース製造、ガス検診器の改修、パン・クッキーの製造等の現場視察と経営者との意見交換を致しました。

「(株)九神ファームめむろ」と「進和学園」の視察で、障がい者の就労支援にあたっての組織について学びました。

次に介護福祉課と町の状況について、1月27日に意見交換会を行なっております。

また、4月に小田原養護学校大井分教室を視察し、意見交換会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

委員会として「障がい者の就労支援」について如何あるべきかをまとめたいと思っております。